

広島平和研修に参加してきました！ その2



平和記念公園の中には、原爆ドームのほかにも、いろいろな記念碑がたくさんあり、どの記念碑にも平和を希求する気持ちが込められています。

原爆の子の像は、2歳8か月の時被爆し、急性白血病のため12歳の若さで亡くなった佐々木禎子（ささきさだこ）さんの死を悼んで、全国の少年少女たちの募金で建立されました。禎子さんは、「鶴を千羽折ると願いがかなう」と信じ、夜も眠らず、「生きたい」という願いを込めながら薬の包み紙などで鶴を折り続けましたが、その祈りもむなしく9か月の闘病生活の後亡くなりました。その禎子さんが折った鶴は平和記念資料館に展示されています。

像の高さは9mで、頂上に金色の折鶴を捧げ持つ少女のブロンズ像が立ち「平和な未来への夢」を託しています。

原爆死没者慰霊碑は、正式には「広島平和都市記念碑」といいます。

アーチ形の碑の下には石棺があり原爆により死亡された人々の中で名前が判明した人々を記帳した「原爆死没者名簿」が納められています。石棺の前には『安らかに眠ってください過ちは繰返しませぬから』と刻まれています。



毎年8月6日には、平和式典がこの慰霊碑の前で行われています。

私たちは、慰霊碑に献花し、原爆死没者の御霊に戦争のない世界・社会と核兵器・核兵器のもととなるプルトニウムを生み出す原発のない社会を創造することを誓いました。

【INUI】